

日本語教室って どんなところ？

北名古屋市では、外国人住民の増加とともに、多国籍化・定住化が進み、地域の中でともに暮らす時代になっています。

その中で、日本語教室は、単に「日本語を学ぶ場所」ではなく、外国人住民が地域とつながり、安心して暮らしていくための大切な居場所となっています。

教室では、日本語を学ぶだけでなく、さまざまな交流が生まれています。そこには、「教える／教えられる」を超えた、人と人との出会いや支え合いがあります。

今回の企画では、北名古屋市国際交流協会の社会人日本語教室の活動紹介に加え、実際に教室で学ぶ外国人住民の“生の声”を通して、地域における多文化共生について考えます。

学習者との交流やワークショップを通して、多文化共生を“特別なこと”ではなく、身近な地域づくりとして一緒に考えてみませんか。

❓ 日本語教室ってどんな場所なんだろう？

❓ 外国人住民は、地域でどんなことを
感じながら暮らしているのだろう？

📅 日時：2026年10月10日(土)

🕒 時間：14:00～15:30

📍 場所：μ-base (ミューベース)
北名古屋市法成寺蔵化60番地
名古屋芸術大学アーツスクエア
(文化勤労会館) 3F

👥 定員：30名

入場無料

申込QRコード



プログラム

- 1 日本語教室の取組
- 2 学習者の声を聴く
- 3 ワークショップ
「学習者と触れ合いながら
多文化共生について考える」

✎ 申込方法：Googleフォームまたは電話・メールによりお申し込みください。

🌐 Googleフォーム：https://forms.gle/k9obeGBgjmqGP8oTA

👥 主催：北名古屋市国際交流協会

☎ 電話：0568-48-0261

✉ メール：info@kitanagoya-kiia.jp